

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和3年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州観光コンベンション協会
-----	-----------------------

所管課	産業経済局 MICE推進課
-----	---------------

団体に対するミッション
内外の工業製品等の展示紹介を通じて西日本地域の産業の高度化と貿易の振興、北九州市における観光事業の健全な振興に資するとともに、コンベンションの誘致、支援等を通じて地域の活性化及び文化の向上に資することにより、本市の経済政策を支援し、にぎわいと活力あふれるまちづくりに貢献する。

行財政改革大綱における見直し内容
今後、策定を予定している、観光振興の柱となる新たなプランに基づき、コンベンションをはじめとしたMICE（※）事業の強化に取り組む。 また、より効果的・効率的な誘致・集客体制を図るため、観光関連団体等との連携や統合も視野に入れた機能強化について検討する。
※MICE…企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議や全国規模の大会、学会等（Convention）、展示会・見本市、様々なイベント（Event/Exhibition）の頭文字をとった用語で、多くの集客・交流が見込めるものを言う。

ミッションに基づく中期計画								
3～5年後に目指す状態	MICE開催拠点である小倉駅新幹線口国際コンベンションゾーンを一体的に運用し、積極的にMICEを推進することにより、産業振興・国際化の推進・にぎわいづくりに貢献する。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 目標 実績		R4 目標	R5 目標
3施設の来場者数	107万人	88万人	91万人	22万人	91万人	45万人	107万人	107万人

ミッションの遂行状況の評価（令和3年度）			
団体における評価	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）の影響が継続したものの、感染症防止対策を講じるとともに、オンライン等の開催手法を取り入れながら、主催事業やMICE・観光客誘致等に取り組んだ。その結果、8つの見本市・展示会実施や誘致した111件の会議・学会の開催に成功し、市内のにぎわいづくりや活力あるまちづくりに貢献した。	市の評価	令和3年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたため活動指標は未達となったが、本市と連携して安心・安全な施設運営を着実に進めたことは大いに評価できる。 また、厳しい状況下においても、主催者・出展者への迅速かつ丁寧な対応、ニーズの変化を的確に把握した施設運営や誘致活動などを行い、実績は前年度よりも伸びており、目標は下回ったものの、市内のにぎわいや活力あるまちづくりに貢献したと評価する。
	今後の課題及び見直し内容（案）		団体への改善指導内容（案）
	MICE事業では、展示会や学会・大会等をオンラインで開催する形式が徐々に定着しつつあるが、その中で現地開催する形式の重要性が見直されつつある。そのため、オンラインと現地開催の利点を合わせ持つハイブリッド形式の充実を図り、また臨機応変なサポートを行うことでMICE支援に取り組む。 観光事業では、北九州市が「日本新三大夜景」ランキング1位に認定された好機を捉え、オリジナルの夜型観光ツアーの定着化を促進し、市内への滞在時間の増大を図る。		新型コロナウイルス感染症の影響によって、MICE開催における主催者や参加者の意識や、展示会や学会等の開催形式は大きく変化している最中である。誘致活動、自主事業、施設運営等において、主催者の要望に適切に対応し、開催形式に合わせた安全安心なMICE開催支援を行うなど、状況やニーズの変化に合わせてこれまで以上にスピード感をもって対応するよう指導する。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	－
団体の機能強化、拡充を図り、北九州市のMICEおよび観光振興をより一層推進するため、平成29年4月に西日本産業貿易コンベンション協会と北九州市観光協会が合併し、北九州観光コンベンション協会が発足した。	